

指定管理者評価表

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市原池公園野球場	
(2) 施設の設置目的	
市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資するため設置	
(3) 所管部局	
文化観光局 スポーツ部 スポーツ施設課	
(4) 指定管理者名	
原池スポーツチャレンジ共同体 (美津濃株式会社、ミズノスポーツサービス株式会社、大林ファシリティーズ株式会社大阪支店、利晃建設株式会社)	
(5) 指定期間	
令和元年1月20日から令和3年3月31日まで(1年と72日間)	
(6) 主な事業	
①施設の管理運営に関する業務(利用申込の受付等・利用料金の徴収・施設、設備、器具及び備品の維持管理・利用案内等に関する業務) ②自主事業の企画及び実施に関する業務(スポーツ教室の企画及び実施その他の指定管理者が提案し行うスポーツ振興事業) ③その他の業務(職員の雇用、配置、研修・施設内の目的に適したスペースの利用・目的外使用の取扱い・文書管理・業務報告・統計資料等の作成・関係機関等の連絡調整、スポーツ行政等への協力・緊急時等への対応・指定期間終了にあたっての業務、利用者情報等の引継ぎ)	
(7) 有料施設の有無	
有(利用料金制)	
(8) 公募・非公募の別	
非公募 (非公募の場合その理由) 原池公園野球場は、原池公園内に既に整備されている体育館やスケートボードパーク等と同様に、原池公園の運動施設として整備するものであり、利用者の利便性の向上、施設の効率的な運営、経費の縮減及び設置目的を実現するためには、スポーツに関する豊富な知識や事業運営に関するノウハウを有する団体が、野球場を含め原池公園内の運動施設を一体的に管理運営する必要がある。 原池公園体育館等の指定管理者は、体育館及びスケートボードパーク等を効率的に管理運営するとともに、施設の設置目的を十分に理解し、設置目的に沿った事業計画を提案し施設を効果的に管理運営しており、野球場を含めた原池公園の運動施設を一体的に管理運営する能力を十分に有している団体である。代表団体である美津濃株式会社は、野球場の管理運営を数多く担い、多様なノウハウを有しているため、野球場の活性化や利用者サービスの向上も期待できる。 また、原池公園体育館等指定管理者の指定管理期間は平成28年度～令和2年度までであり、令和2年度だけ公募することは、効果的、効率的な管理運営とは言えず、指定管理者制度の趣旨にも合致しないものである。 以上のことから、令和2年度末までの1年と72日間の原池公園野球場の指定管理者選定手続きを非公募とし、原池公園体育館等指定管理者を選定した。	
(9) 主な利用者	(10) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標	
無	

2 管理運営状況

(1) 特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

令和2年4月1日の施設オープンに向けた準備期間として施設利用予約の受付、備品整理等を行った。

(2) 利用者サービス

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者名				原池スポーツ チャレンジ共 同体	原池スポーツ チャレンジ共 同体
ア 利用者数 (人)					
利用者数の算出 方法	-				
市による状況分析	-				
イ 稼働率 (%)					
稼働率の算出方 法	-				
市による状況分析	-				
ウ 利用者満足度 (%)					
利用者満足度の 測定方法	-				
市による状況分析	-				

(3) 管理体制等

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ア 職員数(人) ※各年度4月現在				7	8
イ 職員研修(回) ※令和2年度は予定回数				4	6
ウ 要望、苦情等(件)				0	-
エ 事件、事故等(件)				0	-
市による状況分析	CS・人権研修やAED研修、グラウンド整備研修を実施し、令和2年4月1日の施設オープンに向けて、サービス向上の取組を実施した。				

(4)収支状況(単位:円)

■指定管理業務

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入	指定管理料				3,000,000	29,600,000
	利用料金				0	23,652,000
	負担金				0	0
	その他収入				0	570,000
合 計					3,000,000	53,822,000
イ 支出	人件費				868,000	13,000,000
	委託料 ()内は総支出額 に占める委託料の割合				425,700 (19.9%)	13,100,000 (24.3%)
	修繕費				0	2,500,000
	光熱水費				193,943	10,010,000
	その他経費				650,350	15,212,000
合 計					2,137,993	53,822,000
利用者一人当たりの支出額					—	—

ウ 収支差額				862,007	0
--------	--	--	--	---------	---

エ 市への納付金の額				0	0
------------	--	--	--	---	---

オ 徴収委託の場合 の徴収額				—	—
-------------------	--	--	--	---	---

市による状況分析	令和2年1月20日より指定期間開始。令和2年4月1日の供用開始に向けて、施設点検業務のための委託料の支出、備品や消耗品の購入支出があった。
----------	---

■自主事業(有)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算)
ア 収入				—	1,700,000
イ 支出				—	1,885,000
ウ 収支差額				—	-185,000
エ 市への納付金の額				—	0
オ 事業数(回)				—	
カ 参加者数(人)				—	

主な自主事業	スポーツ教室、イベント、共用利用、自動販売機、ショップ
--------	-----------------------------

市による状況分析	—
----------	---

3 目標管理、評価等

(1) 適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標		(設定理由)
	目標		(設定理由)
	実績		(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析

--	--

平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	
---------------------------------------	--

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	
-----------------------	--

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評価		
	具体的な理由		
	対応策等		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標		(設定理由)	
	目標		(設定理由)	
	実績		(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析	

--	--	--	--	--

利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項				
--	--	--	--	--

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応				
-----------------------	--	--	--	--

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評価		
	具体的な理由		
	対応策等		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標		(設定理由)	
	目標		(設定理由)	
	実績		(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析	

収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	
------------------------------------	--

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	
-----------------------	--

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評価		
	具体的な理由		
	対応策等		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの